

## 平成 28 年春期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2016,6,17

4 月 17 日 (日) に行われた平成 28 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、応用情報技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■応用情報技術者試験 (AP)

[平成 28 年春期の応用情報技術者試験 統計情報]

応募者	44,102 人
受験者	28,229 人
合格者	5,801 人
合格率	20.5%

今回の応用情報技術者試験の合格率は 20.5% で従来の平均的な合格率でした。しかし、前回平成 27 年秋期試験が 23.4% という高い合格率でしたので、約 3% の大きな減少となりました。午後試験の問題に難問は少なかったのですが、得点は伸びなかったようです。

#### (午前問題)

- 平成 21 年春期の新試験制度 1 回目の試験内容から、午前試験問題は少しずつ難しくなる傾向にありましたが、今回の試験は前回と同様、難しい問題が少なく、全体に解きやすかったといえます。また、4 回前の試験からセキュリティ分野を重視した出題に変わりましたが、出題数は前回と同じ 10 問でした。
- 過去問題は全体の 6 割で前回よりも少し減っています。ただし、高度試験の午前Ⅱ問題の出題も多く、データベーススペシャリスト試験から 3 問、システム監査技術者試験から 3 問、IT サービスマネージャ試験から 2 問の出題がありました。これらの問題は少し難しかったといえます。
- 新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。前回に比べて多くなっています。なお、他の試験で過去に出ていても AP 試験で初めて出題された問題も含めています。

問 10 USB 3.0 の特徴

問 14 ライブマイグレーションの概念

問 22 パワーゲーティングの説明

問 31 スタースキーマでのモデル化

問 34 ルータを冗長化するために用いられるプロトコル

問 45 Man-in-the-Browser 攻撃に該当するもの

問 50 XP におけるテスト駆動開発の説明

問 51 ステークホルダの役割

問 55 フォロー・ザ・サンの説明

問 58 クラウドサービス上の情報消失の予防に関するチェックポイント

問 64 オムニチャネルの特徴

問 69 消費者の購買行動の分析

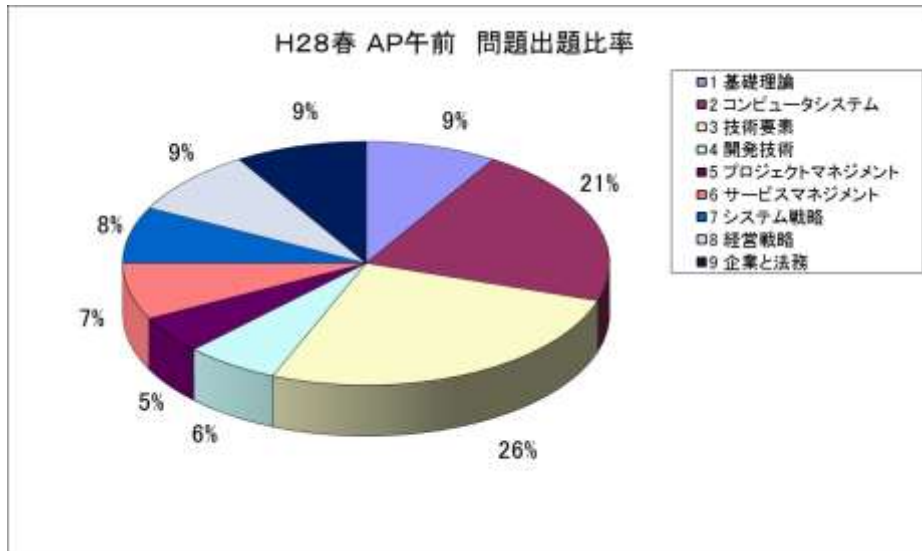
問 74 SRI (Socially Responsible Investment)

問 75 PM 理論のリーダタイプ

問 78 ソーシャルメディアガイドライン

- ・ 計算問題は 6 問で前回の 7 問とほぼ同じですが、前々回は 17 問ありましたので傾向として減っています。また、考察問題は 12 問で前回の 16 問と比べて少し減っています。

#### 平成 28 年春期の応用情報技術者試験 午前問題出題比率



#### (午後問題)

午後試験の問題は、前回次のような大きな制度の変更があり、今回は 2 回目実施になります。

- ・ 解答数が 1 問減り 5 問になった。
- ・ 問 2 の経営戦略、問 3 のプログラミングから 1 問選択する必要がなくなり、問 1 必須問題の情報セキュリティを除いて、残りの 4 問を自由に選べるようになった。
- ・ 各問題の配点が 20 点で統一された。

今回出題された問題は、選択が自由になった問 2 の経営戦略、問 3 のプログラミングの内容は前回と同様に平易で解答しやすかったといえます。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験レベルの知識を確実に理解し、問題事例に適用できるよう、しっかり演習を行う必要があります。

問 1 Web サイトを用いた書籍販売システムのセキュリティ (情報セキュリティ)

問 2 事業継続計画 (BCP) (経営戦略)

問 3 ライフゲーム (プログラミング)

問 4 冗長構成をもつネットワーク (システムアーキテクチャ)

問 5 スイッチ間の接続経路の冗長化 (ネットワーク)

問 6 コンビニにおけるデータウェアハウス構築・分析 (データベース)

問 7 飲食店向けタッチ式注文端末 (組込みシステム開発)

問 8 通信販売用 Web サイトにおける決済処理の設計 (情報システム開発)

問 9 品質評価 (プロジェクトマネジメント)

問 10 キャパシティ管理 (サービスマネジメント)

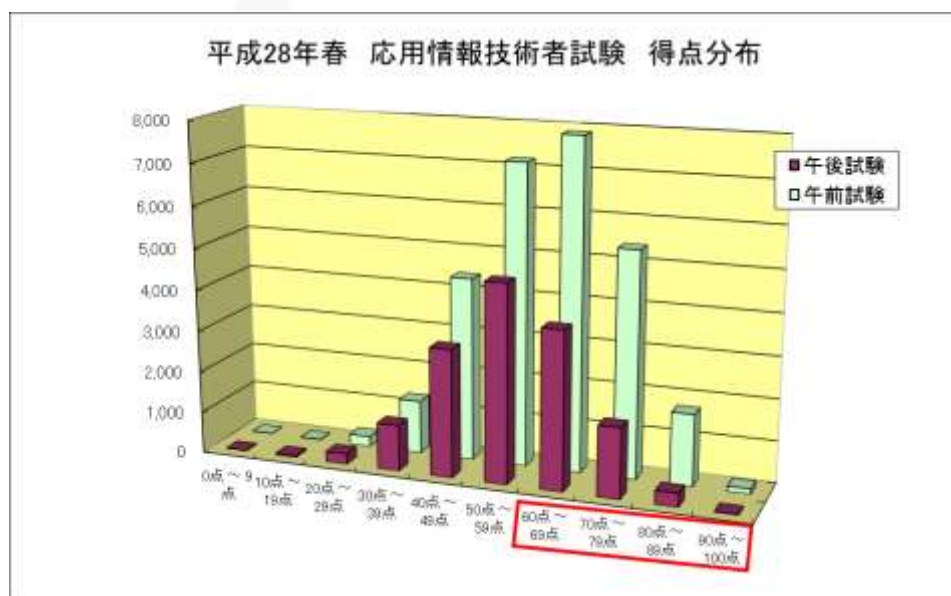
問 11 業績管理システムの監査 (システム監査)

発表された応用情報技術者試験のスコア分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

(平成 28 年春 応用情報技術者試験 スコア分布)

平成 28 年春 AP	応募者	受験者	合格者
人数	44,102	28,229	5,801
率		64.0%	20.5%

得点	午前試験	午後試験	合格者
0 点 ~ 9 点	8	14	
10 点 ~ 19 点	12	47	
20 点 ~ 29 点	244	254	
30 点 ~ 39 点	1,284	1,110	
40 点 ~ 49 点	4,394	3,065	
50 点 ~ 59 点	7,189	4,721	
60 点 ~ 69 点	7,865	3,777	
70 点 ~ 79 点	5,390	1,683	
80 点 ~ 89 点	1,720	328	
90 点 ~ 100 点	123	13	
計	28,229	15,012	5,801
対前試験比率		53.2%	38.6%
合格者数	5,801	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60 点以上合計	15,098	53.5%	9,297
午後 60 点以上合計	5,801	38.6%	0



今回の平成 28 年春期の午前試験では合格基準点の 60 点以上の人が 15,098 人で受験者の 53.5% でした。前回の試験は 45.9% で 8% 近くも増えました。問題の解きやすさが結果に出たといえます。

午後試験で合格基準点の 60 点以上を超えている人 (合格者) は 5,801 人で、採点した答案数の 38.6% にあたります。前回平成 27 年秋期試験では 51.3% あったので 13% も下がっています。午後の試験問題自体は解答しやすいものが多かったのですが、得点に結びつかなかったようです。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で 50 点以上 60 点未満の人が 7,189 人 (受験者の 25.5%)、午後試験で 50 点以上 60 点未満の人が 4,721 人 (同 31.4%) と、どちらも 3 割前後の人があと 10 点で合格できるラインにいます。この方たちは合格まで“あと一歩”のところにいますので、苦手と感じる分野を中心に早めに次の試験対策を始めてください。

### (今回合格された人)

今回見事合格された方で、16 秋期試験で情報セキュリティスペシャリスト・ネットワークスペシャリスト・IT ストラテジスト・システムアーキテクト・IT サービスマネージャの試験合格を目指す方は、午前の試験が午前Ⅰの共通知識と午前Ⅱの専門知識に分れます。

午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『スタンダード午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB教材」「WEB テスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『スタンダードコース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

### (今回残念ながら不合格だった人)

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行のテキスト「応用情報・高度共通 午前試験対策」、「応用情報技術者 午後問題の重点対策」などの教材で、じっくり学習してください。

今回の午前試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに"あと一歩"のところまで実力が付いていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習から始めましょう。

また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、確実に得点するために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。選択範囲が広がったことで解答しやすい問題を選ぶことができますので、チャンスが広がると考えて、早めに対策を始めましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えようとして問題を解く訓練を行うのが有効です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『プラクティスコース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

応用情報技術者試験に合格するためには、午前対策、午後対策をバランスよく確実に進める必要があります。出題ポイントや午後試験対策方法を効率よく学習できるアイテックの通信教育、セミナーの受講で栄冠を勝ち取ってください。

2016 年秋期試験対策の新しい書籍や研修案内については弊社のホームページからご覧ください。

<http://www.itec.co.jp>